

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

七五三のお祝い着



七五三は現代の多くの子供たちにとって、きものを初めて着る記念な機会ともいえます。人生のおめでたい節目にこそ、きもの姿でお祝いをしたいものです。

これからの和とくポイント

成長の喜びをお祝い着に託して

色や柄にも”祈り”が込められています。

祖父母が丹精して用意してくれた祝い着は思い出として残しておきたいものです。

お子さまの健やかな成長を祝い、祈願する七五三は、その名の通り3歳、5歳、7歳で行われます。それぞれの年齢の儀式は名称や意味が異なり、男女で儀式をする年齢も異なります。

*3歳の男の子・女の子「髪置きの儀」

子どもの健やかな成長や長生きを願い行う「髪置きの儀」は別名を「櫛置き」「髪立て」ともいい、長寿を祈願するために、白髪を模した白糸や綿白髪を頭上に置いて祝ったとも伝えられています。

*5歳の男の子「袴着（はかまぎ）の儀」

正装である袴を初めて身に付ける「袴着（はかまぎ）の儀」を執り行いました。別名「着袴（ちゃっこ）」ともいわれるこの儀式を経て男の子は少年の仲間入りをし、羽織袴を身に付けたとされています。

*7歳の女の子「帯解（おびとき）の儀」

着物を着る際に使っていた付け紐をとり、帯を初めて締める成長の儀式が執り行われていました。「帯解（おびとき）の儀」は別名「紐落し」「四つ身祝い」などと呼ばれますが、江戸時代に男児は5歳で「袴着（はかまぎ）の儀」を、女兒は7歳で「帯解（おびとき）の儀」の行う形に変わり、この帯解を経て大人の女性へ歩み始めると認められていました。

一般的に七五三の参拝は11月15日にするとされていますが、昨今はお子さまの成長に合わせて日程を決めるご家庭が増えています。数え年と満年齢のどちらで七五三をするか、どの時期に行うかなどはご家族で話し合い、お子さまの負担が少なく、機嫌のよい時間帯にお詣りに行くのがおすすめです。



今日もきもの気分

やしま呉服店からのお知らせ

10月の秋のやしま祭りには多くの皆さま方にご来店頂きまして誠にありがとうございました。今後とも末永く宜しくお願い致します。

11月の催事・イベント

◎催事：錦秋展
とき：4(金)～6日(日)

カルチャー

◎ヨガ(土)
初心者大歓迎!!
1時間リフレッシュ
とてもリラックスできます



詳細のお問い合わせはお店まで(^^) / ^^

さくらきもの学院

※詳細はさくらきもの学院事務局まで
◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>
◎Fb: <https://www.facebook.com/sakurawasou/>
🌸 レッスンのお申込受付ます♪
・初等科マンツーマン：7,500円/6回+α
・着方レッスン：12,000円/10回
詳細のお問い合わせは事務局まで(^^) / ^^

着付けのご依頼承ります

さくらきもの学院9周年記念
着付け教室受講生募集中

